

## 黒姫山

### 青海町大沢から往復

#### 〈概説〉

黒姫山は、長野県の北信五岳の一つであるものがあまりにも有名であるが、この他に新潟県において刈羽三山の一つと青海町にもあることはあまり知られていない。

このうち、日本海に面した青海町にあるものは、石灰岩質の山のため、その山麓にセメント工場があり、採石が進んでいるため至るところ痛々しい山肌を晒しているものの、海拔0mから一挙に1000m以上のせり上がりを見せている山容は峻険で凄味さえ感じさせる。

このような山容から青海町からはスキーなどまったく不可能と一般的に思われているのではないかと思われる。

しかし、実際にはルートを巧みに採ることによって、この山の標高からは想像できないような快適な山スキーが可能である。

このルートは、そういった意味で滑りの快適さ以上にルートの採り方の妙と山スキーの可能性を再認識させられる好ルートであろう。

#### 〈行動概略〉

国道8号線からセメント工場の看板に導かれ、青海川沿いに車を走らせる。やがて橋を渡り、セメント工場を右手に、青海川を左手に見るようになると、パイプラインの敷設されている橋（旭橋）の下をくぐる。車はこの橋をくぐった先に止める。

ここから旭橋を渡り、これに続くセメント工場の専用道路（除雪・舗装されている。）を歩く。林道は標高500m付近でY字路となっており、左に進むと直ぐに道は雪で埋まっている。更に雪の上を道なりに進むと、やがて採掘場の広い雪原となっている。この雪原を直進し、正面の支尾根に取り付く。少し藪がうるさいが、それも直ぐに終り、正面に993mピーク（前山）に続く標高差約500mの大斜面が望まれる。この斜面は、いくつかの登り方があるとは思いますが、前山に直接突き上げる雪の斜面途中から右に派生している雪の斜面を登る。この斜面は上部がかなり急なことから、登りに体力を要するだけでなく、降雪直後等は雪崩の危険性も高くなることから、雪の状態が悪いときはこの手前で退却せざるを得ないだろう。前山を右から巻くようにして登り切ると、積

雪量も多くなり一変して山の感じも女性的で伸びやかなものとなる。山頂は前衛の山並みに遮られて望めないものの、先程の緊張感の漂う急な登りと異なり、広い尾根を妙高・海谷山塊を見ながらのんびり登る。標高1100m辺りから、小さなアップダウンを越えながら進むと黒姫山の最後の登りとなる。ここは、広い斜面となっている。稜線に出ると、コンクリート造りの社殿のある山頂までは直ぐであるが、尾根が痩せていることからスキーは頂上直下にデポした方がよい。頂上からの展望は、北アルプス北部や妙高・海谷山塊の山々の眺めがよいが、頂上直下北面に広がるカルスト地形特有のドリーネを多数有する台地は一見に値するだろう。

ここからは往路を戻るが、前山までは広い斜面を自由気儘に滑ることができる。稜線は途中小さなアップダウンはあるが、シールを着け直す必要はなく、特に頂上直下と標高1100mから1000mにかけては、斜面も広く楽しいスキーとなるだろう。前山からは、このピークを左に巻き気味に進み、下部斜面の滑り出し地点に出る。この斜面の上部はかなり急でやや狭いため初心者には無理であるが、滑るほどに広くなり、申し分のない滑りが楽しめるだろう。この斜面が終れば雪で埋まった広場を直進し、雪の状態にもよるが、更にそのまま真っ直ぐ滑り下りれば先程のY字路にでる。あとは、除雪された林道を歩くだけである。振り返れば先程滑った急斜面が望まれ、このルートの本当の良さがわかると思う。

〈メンバー〉

酒井正裕，工藤康行

〈コースタイム等〉

平成6年3月19日（晴れ）

旭橋先（4：50）－前山（9：30）－黒姫山（11：50～

12：40）－Y字路（14：00）－旭橋先（14：40）

〈装備〉

カンジキ，赤布

〈山行適期〉

3月上旬～3月下旬

〈滑降距離等〉

滑降距離 約 3.0 km 滑降高度差 約 750 m

滑降斜面の最大斜度 約 38 度

〈グレード〉

総合 中級 山岳技術 中級 スキー技術 中級上

〈1/25000 地図〉

糸魚川, 小滝

〈その他〉

- ・アプローチは J R の利用も考えられる。
- ・旭橋及び取り付きの道路は、セメント工場の専用であるので、現地ではなるべく工場の許可を取って入山したい。
- ・滑降時は、前山を直進すると危険なので、前山付近は登高時に丹念に赤布を付けるなど慎重を期したい。
- ・標高 1100 m 辺りから前山にかけては、この山行のように忠実に尾根筋をたどって滑ってもよいが、稜線左にある沢を滑り、途中から登り返しても面白いと思う。